

I 教育理念・目的・目標

教育理念

看護学は、生命の尊厳と人間愛を基盤とした実践の科学である。看護の対象は、多様な価値観をもち地域社会の中で生活し、成長・発達・変化し続ける人間である。看護とは、対象のあらゆる健康の段階に働きかけ、対象がその人らしい生活を送れるよう援助することである。

本校は、個性や主体性を尊重し、全人的な存在としての自己及び他者の理解に目がむけられる豊かな人間性と倫理性を育む。

また、専門職業人として、生涯学び続け、他の専門職等と連携・協働し、社会の動向を見据え、常に必要かつ最高の看護を提供し、地域社会の健康と福祉の向上に貢献できる実践者を育成する。

これらの理念を共有し、本校は、助産師及び看護師として必要な基礎的能力を身につけ、県民の健康の担い手としてあらゆる場で看護が実践できる質の高い人材を育成するものである。

教育目的

助産師・看護師として必要な専門的な知識及び技術を修得させ、豊かな人間性を養い、専門職業人として自覚と責任をもって社会に貢献できる有能な人材を育成する。

教育目標

- 1 生命の尊厳と高い倫理観を基盤とした人間愛を養う。
- 2 生涯学び続ける探求心や豊かな人間性を身に付ける。
- 3 専門的知識と科学的根拠に基づいた判断力と実践力を身に付ける。
- 4 看護の役割と責任を自覚し、他の専門職種との役割を理解し、多職種と連携・協働できる能力を身に付けることができる。
- 5 専門職業人として、社会の動向に対応し、地域社会の保健・医療・福祉の向上に貢献することができる。